

三重県  
鈴鹿市  
移住のススメ

鈴鹿

Suzuka Kurashi

暮らし

私たちがこのまちに  
＼ 住み続ける理由 /  
モータースポーツのまち  
自然豊かなまちで  
暮らそう!

# 鈴鹿

Suzuka Kurashi

# 暮らし

鈴鹿山脈から伊勢湾を臨み  
 豊かな平野の広がる鈴鹿。  
 産業と文化がバランスよく発展を遂げ、  
 自動車レースの最高峰F1が開催される  
 モータースポーツのまちとしても世界的に知られています。  
 また鈴鹿は、「さぁ、きっともっと鈴鹿。海あり、山あり、匠の技あり」  
 をキャッチコピーに、豊かな地域資源を活かして  
 さまざまなことにチャレンジしている人たちであふれています。

本誌では、鈴鹿に移住し暮らす人々のストーリーをご紹介します。  
 鈴鹿での暮らし、楽しみ、鈴鹿で叶えたい夢…  
 たくさんのストーリーを感じてみてください。

もっともっと、あなたの人生が豊かなものになりますように。



F1日本グランプリ ©suzuka circuit



鈴鹿バルーンフェスティバル



すずかフェスティバル



鈴鹿げんき花火



鈴鹿さくら祭り



茶摘み



鼓ヶ浦海岸



消防出初式



石取祭

## contents

- 3-6 鈴鹿市移住体験談
- 7-8 鈴鹿市ではたらく
- 9-10 鈴鹿市で育てる
- 11-12 ライフスタイルを覗いてみよう!
- 13-14 鈴鹿市の時間
- 15-16 住まいの情報・Q&A
- 17-18 アクセスマップ

File.01

## 小学生から通っていた鈴鹿サーキットのまち 充実した日々を家族と共に鈴鹿で過ごす

DATA

岡本 孝之さん(34歳)  
住友電装株式会社  
麻代さん(35歳) 主婦  
実優ちゃん(4歳)



●きっかけは？

### 子どもの頃から縁のある鈴鹿が職場に

地元浜松で機械メーカーの営業をしていましたが、企画の仕事がしたい!と転職。四日市に本社のある「住友電装」に採用となり、配属が鈴鹿市内の事業所でした。幼少期からレース観戦が好きで、実は鈴鹿サーキットへは小学生の頃に7~8回訪れていました。その後プロのF-1ドライバーを目指して始めたカートや、大学生の時に入校した鈴鹿サーキットレーシングスクール(SRS-Formula)でも頻繁に鈴鹿に通っていました。もとより勝手知れたるまちということもありましたが、浜松も鈴鹿も同じ様な自動車文化であること、趣味のフィールドでもある海や自然が近いところ、一方では不自由なく気軽に買い物に行けるところ等、共通項が多く、鈴鹿での生活にはすぐ馴染むことができました。

●どんな暮らしをしている？

### 鈴鹿を中心に様々な趣味を満喫!

モータースポーツから離れていた時期もありましたが、今は月に1回程レーシングカートを楽しんでいます。僕は多趣味でフットサルでは三重県リーグに参加。千代崎海岸や白子漁港で釣りをしたり、ゴルフやテニスもしています。趣味を楽しむにも恵まれた環境で、日々の買い物など暮らしやすさも良い。今はアパートに住んでいますが、子どもも大きくなってきたので家のことも考えはじめています。鈴鹿に根を張ることも、仕事の環境に合わせて検討しています。



細く長く、モータースポーツを続けていきたいという孝之さん。麻代さんと実優ちゃんも、レーシングカートを走らせているところをよく見学に行くのだとか。他にも釣りやフットサルなどにも一緒に行ったりと、孝之さんの豊富な趣味が家族の楽しみでもあるようだ。



実優ちゃんも鈴鹿サーキットが大好き!遊園地ではまず「ぶんぶんばち」に乗って、次に「フラワーゴン」へ行くのがお決まりのコース。鈴鹿8耐で活躍してきた歴代のマシンの展示もある「レーシングシアター」では、孝之さんがウキウキ。



File.02

## 兵庫と愛知、他県から移住したからこそ見える 鈴鹿の住みやすさと暮らす人の温かさ

●きっかけは？

### 鈴鹿の会社で出会い 結婚を機に鈴鹿へ

以前、僕は兵庫でタイヤの販売をしていました。車関係で転職を考えていた時に今の会社に魅力を感じ、全国のどこに配属になるかわかりませんでしたが入社をしました。入社後鈴鹿に配属され、妻も愛知から同じ会社に入り、意気投合して結婚。入社した当初は不安もありましたが、会社の人がとても優しくすぐにこのまちに慣れました。また、趣味のスノーボードやゴルフをするのにも交通の便も良く、海や山、川も近い子どもたちの遊ぶ環境設備も整っている。祭りなどもあってにぎやかなイメージも好きですね。

●どんな暮らしをしている？

### 大きな公園やスーパーがすぐ近くに

お互い仕事をしているので、休日は買い物に行くことが多いです。子どもが遊ぶ遊具が多い桜の森公園や弁天山公園、夏は近くの海岸に潮干狩りに行くと子どもたちも大喜びです! 私たちが元々人の多いまちに住んでいたからか、どこに行っても駐車場がほぼ無料ということにも魅力を感じています。鈴鹿の人は、関西弁より優しく親しみやすい方言で、心の距離も近い。これから子どもがやりたいことをたくさん経験させて、鈴鹿に根を張ってのびのびと過ごしていきたいと思っています。



DATA

瀬川 憲一さん(38歳) (株)ホンダロジスティクス  
実希子さん(33歳) (株)ホンダロジスティクス  
真央ちゃん(4歳) 莉央ちゃん(2歳)



家を建てる時に実希子さんがご自身で調べて、憲一さんと一緒に作ったキッチンにある棚。その他の部屋にも自分たちで作ったオリジナル棚がたくさん施されている。手作りの温かさが詰まった家には、いつも子どもたちの笑い声が響く。



家を建ててから小さな畑で家庭菜園も始めた。季節に応じた野菜だけでなく、ネギの根を植えることもあるんだとか。子どもたちも野菜の成長を見て、食べる楽しみを自然と感している。

File.03

# 子どもを通じて見えてきた魅力あるまち 鈴鹿だからできる子育ての楽しさを発信したい

●きっかけは？  
保育士の二人が選んだ  
子どもに優しいまち

夫は四日市、私は津の出身で、子どもが好きでお互い違う保育の学校に通っていました。そして知的障害者支援の職場で出会い、夫は現在も職場で働き、私は育休をもらっています。上の子が生まれた時は初めての子育てで悩むことも多く、子育て支援センターによく通っていました。この鈴鹿という土地は大きな企業が多く、他府県から越して来たママが多いように思います。そんなママたちと話をすると、鈴鹿は子どもが楽しめる無料イベントや施設、スーパーも多く、とても住みやすいねって話になります。

●どんな暮らしをしている？  
子育てが楽しくなる  
イベントや場所がたくさん！

鈴鹿市が運営する「きら鈴」というサイトは、その日の子どもが参加できるイベント情報や持ち物まで詳しく載っていて、情報を集めて色々な所に行っています。ベビー用品が多くあるマルシェや、最近では大型ショッピングセンターの生鮮売場の一角に、子どもが袋詰めやシール貼りを体験して、作り手・売り手・買い手を繋げる売り場があったりと、子育てそのものが楽しくなる場所がたくさんあります。今はそういった場所に参加する側ですが、これからは鈴鹿での子育ての魅力を発信する側になって、働くママの力と社会を繋げていきたいです。



DATA

福田彩加さん(31歳)  
社会福祉法人 鈴風会 すずかぜ  
英之さん(35歳)  
社会福祉法人 鈴風会 すずかぜ  
航久くん(2歳) うたちゃん(8ヶ月)



人見知りだったパパも、彩加さんが子育て支援センターで出会った友人ファミリーと過ごすうちにパパ友ができ、今ではパパ友同士で遊びに行くことも！子育てにもより積極的になったのだとか。



福田さんファミリーお気に入りの「桜の森公園」は子ども用の遊具が多い所だけでなく、小さな椅子が避難時にはコンロになったり、あずまがやがテントになったりと防災意識が高いことにも驚いたそう。

DATA

村口 詩織さん(31歳)  
特定非営利活動法人  
マザーズライフサポーター  
祐也さん(34歳) 会社員  
琴羽ちゃん(7歳)  
葉奈ちゃん(6歳)  
萌々ちゃん(4歳)  
暖菜ちゃん(9ヶ月)



File.04

# 子育て支援センター、遊び場、 たくさんのイベント、 地域が子育てを 応援してくれています！

●きっかけは？

## 産後からスタートした鈴鹿での暮らし

私は静岡で、夫は三重で就職。出産ギリギリまで働いていたので、7年前長女の琴羽が生後1カ月の時に鈴鹿へ移住してきました。購入したマンションの近所に「トウインクル」というつどいの広場があることを知り、よく通いました。他にも子育て支援センターでのイベントなど子どもを連れて遊びに行ける場所がないか、広報などを見て探したりもしました。地区の公民館のイベントやお友達のお庭で、秋は何度も芋掘り体験をさせてもらいましたよ。「安養寺」というお寺で月に1回行っている子供会にも参加させてもらったり、よくお出かけしました。

●どんな暮らしをしている？

## 4人の子どもたちに恵まれた笑顔の毎日

平日、夫が朝早くから夜まで仕事。子どもたちが幼稚園と小学校から帰って来てからは4人の子どもたちとの時間です。今日のできごとを話したりお便りを読んで、おやつを食べたら自宅前の公園へ。近所のお友達や隣りにある学童保育を利用する子どもたちがたくさん遊んでいて、とつてもにぎやかです。これからも子どもたちとたくさんの経験をし、毎日を楽しみながら暮らしたい。食べることを、作ることが好きで管理栄養士でもあるため、食に関わる仕事ができたらなあ、とも思っています。



野菜と愛情がたっぷり!!この日の食事はさわらの西京焼き、かぼちゃキャベツソテー、枝豆、サラダなど。おやつは柿とサツマイモ。鈴鹿産の旬の新鮮野菜や果物を積極的に取り入れ、子どもたちの食経験を育てていた。

ママたちが安心して休める託児付きのカフェや育児情報誌の発行、子育てを助け合いながら働く場所づくりなどを行うマザーズライフサポーターの活動、「ニコママ」で活躍中。ママの居場所が色々なところできるよう、企業の協力も得て社会と繋がることを目指している。





## プライベートも一緒に楽しむ良好な人間関係 家族の時間や趣味の時間も充実した労働時間

File.01

### 仲間・環境に恵まれて オフの時間も充実

株式会社テック東栄に勤めて9年。結婚を機に津から移住してきました。それまでは通勤に50分程かかっていましたが、今は約20分になり朝は特に嬉しいです。社内の人間関係も良く、市内で開催される飲み会などの企画に幅広い年齢の人が参加したり、BBQでは子どもを連れて行くこともあります。休日もしっかり取れる環境なので、ライブに行ったり趣味の時間も充実して過ごしています。家は鈴鹿サーキットや大型ショッピングセンターから近くの場所に建てました。

市内にある取引先で事務として働いていた妻は結婚後、大型ショッピングセンターで子ども服関係のショップ店員をしています。土日のどちらかは妻が仕事になることも多いので、4歳になる息子とはよく鈴鹿サーキットへ遊びに行きます。

DATA

金岡 佑輔さん(34歳)  
株式会社テック東栄 鈴鹿在住 6年



### コミュニケーションを大切にしたい明るい職場

四輪車用シートを中心とした、自動車内装品のメーカー「ティ・エス テック株式会社」の子会社である「株式会社テック東栄」。「ティ・エス テック株式会社」の考える「人材重視」「喜ばれる企業」の理念を運営方針の一番に掲げ「人と人とコミュニケーションを尊重して、明るい職場を創ろう。」の思いを共有している。平成29年4月から、上司と部下で話し合う面談の場を年2回実施。改めて話す場をつくることで、コミュニケーションの更なる充実をはかる取り組みもスタートした。また、働く人への感謝の思いを持ち、海外から働きに来る人へは生活のサポートを行ったり、またそのサポートを行えるスタッフの雇用にも力を入れている。



File.02

## “従業員満足なく顧客満足なし”の基に人を思い 手厚い福利厚生など働きやすい環境を実現

### 支え合える新しい仲間との 出会いの中で

丸協食産で働いています。長崎の佐世保にある本社で勤務していましたが、鈴鹿に工場を新設するにあたって平成28年4月妻と移住してきました。現在はホルモンライン約50名のリーダーを任されています。将来を期待できるスタッフ、明るくて前向きなパートさんに囲まれた働きやすい環境です。そんな仲間たちと協力して改善を重ね、生産性も本社工場に追いついてきました。移住後、念願の男の子にも恵まれ、1歳になってから妻も同じ工場に働いています。先日久しぶりに長崎に帰省し、両親に孫の顔を見せることができました。休日は大型ショッピングセンターや、近くのスーパーで買い物を楽しんでいます。子どもがもう少し大きくなったら、鈴鹿サーキットに連れて行きたいです。



DATA

下田 隆さん(32歳)  
株式会社丸協食産  
鈴鹿在住 1年6ヶ月

### 笑顔を食卓に届けるための愛情を育む職場環境

1974年創業の株式会社丸協食産は、ホルモンを中心に焼肉、惣菜、鍋物、レトルトなどの食肉の加工卸を行っている。“従業員満足なく顧客満足なし”と、各種社会保険や制度、研修などの福利厚生も充実。パート社員を含む参加可能な全ての社員が集まり行う年度方針発表会や懇親会には、300名以上の人を招待している。その他にも「ユニセフチャリティーガーデン」や「大望年会」など、様々なイベントも企画。実際に働く人たちから「人間関係がいい」「みんな明るい」「雰囲気がいい」「働きやすい」「接しやすい」という多くの声が聞かれた。おいしい笑顔をお届けしてくれる丸協食産の商品の背景には、働く人の絶えない笑顔があった。



## 職業探し

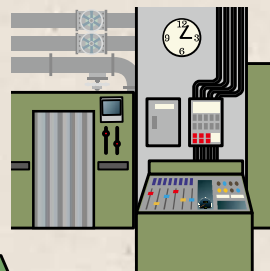
### 若年者等ふるさと就労支援事業

名古屋市等で実施する就職・転職イベントに鈴鹿市の中小ものづくり企業等(製造業・建設業)の求人紹介ブースを出展して、正社員の採用予定がある企業と求職者とのマッチングに取り組む事業を行っています。



### 工場等設置奨励金

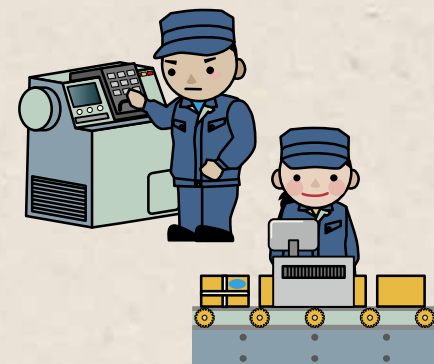
製造業、運輸業または情報通信業の用に供する施設やこれらの業種に係る研究又は開発設計に必要な施設、あるいは循環型社会形成推進基本法に基づく循環的な利用に必要な施設の設置を目的として工場等の設置を行う企業に奨励金等を交付しています。



## モノづくり

### 鈴鹿市モノづくり 元気企業支援事業補助金

産学の連携による研究開発を強化し、製造業の活性化を図るために、市内の中小製造業者等が次世代産業に関して大学及び高等専門学校、研究機関等と共同により、またはその指導により行う新商品または新技術の研究開発に要する経費の一部を補助します。



### メイド・イン SUZUKA 応援補助金

市内の中小企業者等が、市内の地域資源を活用した新商品の開発や販路開拓を行う事業に係る経費の一部を補助する事業を行っています。

File.01

# 「りんりん」に行ったら悩みがなくなった。 ママのお友だちもすぐにできた！

## 「子育て支援センター りんりん」

赤ちゃんが生まれたけど何も分からない。土地勘もない。そんな不安な気持ちを持ったママたちが、「りんりん」に来たら不安がなくなった！と喜んでくれます。ここは他県や他市だけでなく、海外から来たママたちの利用も多いんです。その人たちが、鈴鹿ってあったかい。子育てがしやすい。と言ってくれ、「りんりん」を頼りにしてくれます。地域に昔あったコミュニティーの場が「りんりん」になって、鈴鹿で子育てをするみなさんを支え、応援しています。「支援センターってひとりで行っても平気？」という声も聞きます。もちろん歓迎しますが不安な人は「赤ちゃん広場」への参加がおすすめです。同じ月齢の赤ちゃんがいる親子と出会う、ママ同士もすぐ打ち解ける。その後も親しく繋がっていく姿をたくさん見ますよ。



「子育て支援センター りんりん」は、0歳から小学校入学までの子どもと、保護者が一緒に楽しく遊ぶ場所。開館日の11時・14時から手遊び、体操、絵本の読み聞かせなどを行う「親子でふれあいタイム」。毎月第4週目の火曜は8～11カ月、水曜は0～7カ月の子どもと親たちが参加できる「赤ちゃん広場」を開催。他にも「つくって遊ぼう」や「小児科医による育児相談」、「お父さんも遊ぼうデー」、「英語で遊ぼう」、「りんりんコンサート」、など様々な行事を予定。全て無料。 ※休館日：日曜日、月曜日、祝日、第2火曜日、年末年始



とっも気さくな儀質所長

### ママの声 鈴鹿での子育て いいところは？



9年前、結婚を機に鈴鹿へやってきました。園庭開放にもよく行くのですが、「りんりん」で知り合ったお友達に園で会うこともありますよ。園庭開放に行くとき園の雰囲気もよく分かっていいです。春から子どもが保育園に通うのですが、お気に入りの園が見つかりました。

【新潟から移住の菅谷さん】

長崎で里帰り出産をして、子どもが2カ月の時に鈴鹿に戻りました。戻ってからは家でばかり過ごしていましたが、8～9カ月の頃をはじめ「りんりん」を訪れました。それからは行ける日はほぼ毎日、少ない週でも3～4回は利用しています。スタッフの方も気にかけてくれて、本当に助かっています。

【長崎から移住の丸田さん】



私たちは「りんりん」の「赤ちゃん広場」で知り合いました。今では1週間に3～4回遊んでいます。夫より過ごす時間が長いですね(笑)。子どもの誕生日は1日違いなんです。よ。「りんりん」にもよく来ますが「桜の森公園」や「鈴鹿フラワーパーク」にも遊びに行きます。

【千葉から移住の黒田さん】  
【静岡から移住の篠崎さん】



### のびのび遊べる！ 公園も たくさん！



#### 桜の森公園

2つの広場がそなわる大型公園。3～6歳専用の広場は、ゲージで囲まれており、ユニークな砂場やすべり台などが揃う。もう一つの広場にはスライダー付きの遊具やターザンロープなどが揃い、年齢に合わせて遊ぶことができる。



#### 鈴鹿フラワーパーク

四季折々の花が咲く花壇が美しい公園。長いスライダーをはじめ、小さい子ども向けのカラフルな複合遊具や、広い芝生広場もあり、春と秋は植木まつり、夏には水遊びもできると、楽しみ方がいっぱい！



#### 弁天山公園

大型ショッピングセンターに隣接しているので、お買物のついでなどにも立ち寄れる便利な公園。緑がいっぱいの空間は市民の憩いの場に。カラフルな遊具や噴水、広場、砂場などがあり、いつも多くの人で賑わっている。

### 子育て 支援施設

#### 親子で遊びにいける施設がたくさん！



鈴鹿市には子どもを連れて親子で遊びにいける施設として、子育て支援センターやつどいの広場があります。子育て中の親子に交流の場を提供し、子育てに関する相談に応じたり講座を開催したりするなど、子育て支援を行っています。

#### 子育て支援センター

未就学の乳幼児親子が気軽に立ち寄り、自由に遊べる施設です。子育て相談、電話相談にも応じています。市内に2カ所あります。

#### つどいの広場

主に乳幼児(おむね3歳未満)を持つ親とその子どもが気軽に集い、子どもたちを遊ばせたり、保護者同士で交流したりできる場所です。市が委託している施設が8カ所あります。

### 子育て 情報

子育て応援サイト  
「きらりん」



こちらからご覧いただけます。https://kira-rin.appspot.com/

#### 子育て情報発信中！

子育て家庭を応援します  
鈴鹿市では、子育て情報を様々な形でお届けしています。子育て応援ブック「すずこナビ」を配布したり、子育て情報紙「バンビーキッズ」を発行したり、市のホームページや子育て応援サイト「きらりん」でも子育て情報を発信しています。

#### イベントカレンダー 毎月たくさんのイベントが開催されています。

開催日	開催時間	開催場所	内容
4月1日	10:00-12:00	子育て支援センター りんりん	親子でふれあいタイム
4月5日	14:00-16:00	子育て支援センター りんりん	親子でふれあいタイム
4月10日	10:00-12:00	子育て支援センター りんりん	親子でふれあいタイム
4月15日	14:00-16:00	子育て支援センター りんりん	親子でふれあいタイム
4月20日	10:00-12:00	子育て支援センター りんりん	親子でふれあいタイム
4月25日	14:00-16:00	子育て支援センター りんりん	親子でふれあいタイム
4月30日	10:00-12:00	子育て支援センター りんりん	親子でふれあいタイム

鈴鹿暮らし

# ライフスタイルを覗いてみよう!

暮らす・遊ぶを満足させてくれる  
「行動派の私が選んだ毎日が楽しくなるまち」

とにかく楽しいことが大好き!という滋賀出身の柴田さん。そんな彼女が移住先に選んだのは、鈴鹿サーキットがある鈴鹿。退勤後も遊ぶ場所が多く、日本の中心地にあるため県外への移動も便利! 単身でも生活しやすいと日々羽を伸ばしている。

**DATA**

柴田 美夏さん(29歳)  
事務・企画(株式会社モビリティランド 鈴鹿サーキット モータースポーツ部 モータースポーツ課)  
鈴鹿市在住歴 10年

四日市・東京・北海道・そして鈴鹿へ  
「ゆっくりとした時間の流れが好きです」  
15歳までは四日市、その後東京、北海道に渡り、1年前に両親とパートナーのいる鈴鹿に引っ越して来た粉川さん。幼少期を三重で過ごし、美しい自然や人の優しさに触れ磨かれた感性が、デザイナーという職業に活かされている。

**DATA**

粉川 啓子さん(46歳)  
デザイナー(株式会社ティーオーティートリック・オア・トリート)  
鈴鹿市移住歴 1年  
山際 智之さん(45歳) ドローンパイロット 鈴鹿市在住歴 45年



平日

出勤



テーマ性がしっかりしていて、自分たちでイベントを作っていく楽しさに惹かれ入社。モータースポーツ課に勤務し、走行会員のお客様がより楽しんで頂ける様に毎日努力しています!



職場のみんなと  
三重交通Gスポーツの杜鈴鹿でバスケ!



帰宅・リラックスタイム

就寝

朝

8:30

10:00

昼

12:00

14:00

15:00

16:30

夜

18:00

19:00

20:00

21:00

0:00

休日

起床

ママに人気の  
カフェでランチ  
子ども連れの友達も  
長居ができる雰囲気  
が好き。

喫茶店併設の書店でカフェタイム

雑貨屋さん巡り

スーパー銭湯で岩盤浴

中にレストランもあるので、  
温泉に入ったあと  
夕食もここで食べます!

大型ショッピングセンターでお買物

帰宅

最近流行りの  
サバイバルゲームを  
体験できる場所もあって、  
こんな格好をして  
楽しむことも!



平日

起床・お弁当作り



長太ノ浦駅から出勤。本数は  
20分に1本のペースであるの  
で、とても便利。たまに途中の  
白子駅にも寄り道!

仕事



東京ではテレビのタイトルアニメーションを  
制作していた粉川さん。今でも経験を生かし、  
映像制作やグラフィックデザインを担当。

帰宅・夕食作り

家で仕事

リラックスタイム

就寝



朝

7:00

9:00

10:00

11:00

昼

12:00

12:00

13:00

夜

17:00

18:30

20:00

22:00

23:00

1:00

休日

起床・家事やゆっくりする時間

近くのスーパーに買い物



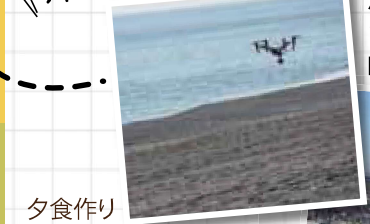
休日にまとめ買いをして、平日分をまとめて下準備!

絶品カレーうどんが人気の  
お店でランチ

天ぷらではなく、大ぶりの海老フライがのったお気に入りのカレーうどん!



外へ気分転換



パートナーとドローンを持って海や公園でデート。

夕食作り

家で仕事

就寝



休日もしっかりお仕事。

# 鈴鹿市の時間



©suzuka circuit



©suzuka circuit

## 鈴鹿8時間耐久ロードレース

「8耐」の愛称で知られ、ライダーはもちろん、全国のバイクファンあこがれの2輪耐久レース。日が暮れたコースをライトが照らし、ライダーが戦いの終わりを告げるチェッカーを受けるシーンは、観戦客に多くの感動を与えている。

## F1日本グランプリ

モータースポーツ最高峰のレースF1日本グランプリは、最新テクノロジーを結集したF1マシンを操るドライバーたちが熾烈なバトルを繰り広げる。F1マシンの迫力あるエンジン音とスピードはファンを魅了し、決勝戦当日は多くの観戦客で盛り上がる。

## 鈴鹿バルーンフェスティバル

東海地方で開催される唯一の熱気球大会。毎年約30機が競技にエントリー。会場の鈴鹿川河川緑地では、熱気球教室や係留飛行(搭乗体験)など、熱気球やスカイスポーツのイベントが楽しめる。



## 鈴鹿シティマラソン

F1マシンが激走を繰り広げた鈴鹿サーキット国際レーシングコースを舞台にランナーたちの熱いバトルが繰り広げられる。10km、5.6kmをはじめ2kmジョギングや車いす競技まで複数の種目があり、毎回市内をはじめ、県内外から多くの参加がある。

## 鈴鹿の風景



### 鈴鹿山脈

鈴鹿山脈は南北50km、東西20kmの広大な範囲に及ぶ山岳で、アルプス並みの急峻な山容を合わせ持つため、多くの登山客が訪れている。



### 小岐須溪谷

鈴鹿川支流の御幣川が造りだした全長4kmに及ぶ溪谷。鮎止めの滝をはじめ、多くの滝が点在し、夏には水遊びをする家族連れで賑わっている。



### 茶

温暖な気候と西部地域の黒ぼく土壌の恵まれた自然環境の中で、香り高く上質な「煎茶」と玉露の味わいをもつと言われる「かぶせ茶」が主に生産されている。



### 鈴鹿川

市の中心部を流れる鈴鹿川。河川敷に整備された鈴鹿川河川緑地では、スポーツやバーベキューなどが楽しめる。夏には川遊びイベントも行われている。



### 海水浴場

市内には、県内最北端の海水浴場となる千代崎と白い砂浜に美しい松が印象的な鼓ヶ浦の両海水浴場があり、多くの人が海水浴を楽しんでいる。



### 漁港

白子漁港、若松漁港、鈴鹿漁港の3漁港を擁する鈴鹿。終日、漁船の出入りでにぎわい、主にイワシ、コウナゴ、アナゴ、アサリなどが水揚げされている。



## 市長挨拶

鈴鹿市は、日本のほぼ中央に位置し、東に伊勢湾、西に鈴鹿山脈といった豊かな自然と温暖な気候に恵まれ、F1日本グランプリや鈴鹿8時間耐久ロードレースが開催されるなどモータースポーツの聖地として世界的にも知られています。



鈴鹿市長 末松則子

本市では、「みんなで創り 育み 成長し みんなに愛され 選ばれるまち すずか」の実現に向け、未来を担う子どもたちが健やかに育ち若い世代が安心して子育てができる環境整備や、地域の活力を生み出し新たな雇用を創出する企業誘致と新産業創造に取り組んでいます。

このパンフレットは、「雇用・子育て・暮らし」に焦点をあて、移住されてきた方の視点から、本市で暮らすことの魅力を紹介しています。ご覧いただいた方には、本市での暮らしをイメージしていただき、魅力を感じていただけたらと思います。

私は、自分が育ち暮らしている鈴鹿市のまちを愛しています。この大好きな鈴鹿市を市民の皆さまとともに、さらに「元気で魅力あふれるまち」にしていきたい、そして鈴鹿市から全国へ元気を発信していきたいと考えています。

## 市章



## 市民憲章

- 1 自然を愛し 緑豊かなまちをつくります。
- 1 互いに助け合い あたたかいまちをつくります。
- 1 健康に心がけ 生きがいのあるまちをつくります。
- 1 教養を深め 文化の香り高いまちをつくります。
- 1 郷土を誇り 力づよいまちをつくります。

## 鈴鹿市 DATA

面積：194.46km<sup>2</sup>  
 平均気温：15.4℃  
 人口：20万1175人  
 世帯数8万5206世帯  
 (平成29年12月31日現在)



## MAP(鈴鹿市周辺マップ)

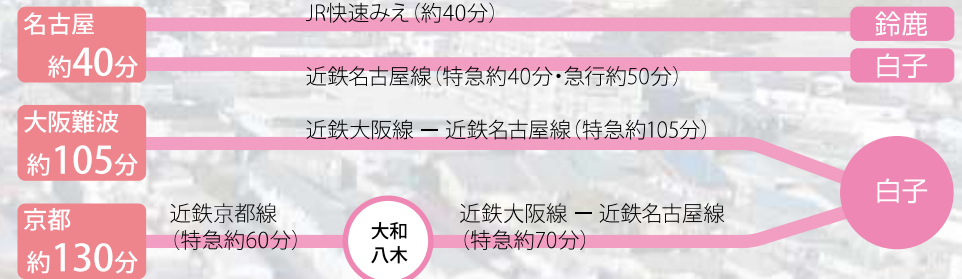
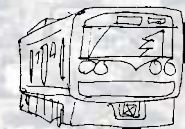


## access

### 車をご利用の場合



### 公共交通をご利用の場合



## 鈴鹿市イメージキャッチコピー

「さあ、きつともっと鈴鹿。  
海あり、山あり、匠の技あり」

鈴鹿市は、自動車産業やモータースポーツが盛んであり、市の名前は全国に知られているなど、とても恵まれています。しかし、この他にも、海や山などの自然に恵まれていたり、お茶やサツキ、伝統的工芸品などの特産品があったり、多くの魅力や個性があります。

キャッチコピーの「もっと鈴鹿」という表現には、「きつとも」他にもたくさんある鈴鹿市の魅力を、どんどん発信していこうという意味を込めています。

鈴鹿市移住相談窓口 ■ 平日窓口 8:30~17:15

Tel.059-382-7616 Fax.059-382-8188 E-mail/jutakuseisaku@city.suzuka.lg.jp  
 都市整備部 住宅政策課 〒513-8701 三重県鈴鹿市神戸一丁目18番18号

お待ち  
しています!



# 鈴鹿市

---

〒513-8701 三重県鈴鹿市神戸一丁目18番18号  
TEL 059-382-1100 FAX 059-382-9040

